

トロイカ

札幌大学ロシア語学科八期生

杉村 秀子

日本では、トロイカというとロシア民謡と思う人が多いと思いますが、モスクワでトロイカというと、PASMOのような交通系ICカードのことです。なんで“トロイカ”と言うかというと、地下鉄・バス・電車の三種類の交通機関で共通して使えるから。交通手段にあわせて、いちいち乗車券を買う必要がなく、値引きもあり、モスクビッチにとっては生活必需品です。トロイカはカードタイプのほか、好みや用途にあわせ、ブレスレットタイプやキーホルダータイプもあります。

料金のチャージは、地下鉄のおばさんが座っている料金窓口でも、チャージ専用機で簡単に出来ます。改札機にトロイカをタッチすると、乗車金額が引かれ、チャージの残金が表示されるシステムになっています。入る時しか、チェックしないので（出るときはフリー）、一枚のカードで何人も利用することも出来ます。

いまやモスクワの人口は、住民票がある人で一二〇〇万人以上、住民票がない人をいれると一五〇〇万人ぐらいいると言われています。街の面積は二五一〇平方キロメートルで、ちょうど東京都（二一八八平方キロメートル）と相模原市（三二九平方キロメートル）を合わせたぐらいですね。モスクワを取り囲んでいるモスクワ州からモスクワに働きにきている人もおおく、八時ぐらいから出勤ラッシュが始まり、地下鉄も非常に混みます。最近では、地下鉄にエアコンがついている

車両もはしるようになったモスクワ。現在の地下鉄の駅数は、一五線で三三一駅あり社員は六万六〇〇人も働いています。二〇一九年の統計によると、一日当たりの地下鉄の利用者数は約九五〇万人にもなるそうです。

ロシアが社会主義だった時代、地下鉄でのんびりと本を読んでいたロシア人。東京の通勤ラッシュで駅員が乗客を車両に押し込むニュースをみて、「驚きだ！こんなことあるの？ やっぱり資本主義は凄いな」といつていたロシア人。昔は、混んでいた車両には、無理には入らなかったロシア人。「やっぱり、資本主義になったんだね」と思っていました。

注：「トロイカ」＝Транспортная карта <Тройка>



1. モスクワ地下鉄駅内（通路上方にみえるパネルの作者はロシアの著名な画家ツェレテリ。ツヴェトノイ・ブリヴァール駅への連絡通路にて）



2. モスクワ地下鉄駅内（上の写真の左方の矢印のある青・白抜きの掲示板は、その矢印の方向に上記 1 の連絡通路があることを示す）



3. 地下鉄エスカレーター（乗り場が地下深くあるため、地上にある改札までエスカレーターで移動）（猛烈な勢いで下りエスカレーターを駆け下りて行く若者もいる）